アメリカ帝国主義のイラン侵略戦争を許すな！

4.4 横須賀闘争

自衛隊の中東派兵絶対阻止！
トランプ・高市打倒！

Overthrow Trump - Takaichi
Never allow US-Japanese War on China!

米海軍横須賀基地へ進撃するデモ隊（25年12月7日）

4月4日（土）14時　京急・横須賀中央駅前広場

アピール行動後、米海軍横須賀基地に向けてデモ

アメリカ帝国主義とイスラエルによるイラン侵略戦争を絶対に許すな！２月28日の先制攻撃以来、米軍はイラン全土へ爆撃を強行。巡航ミサイル「トマホーク」を女子小学校に撃ち込み、175人以上の児童らを爆殺。すでに3000人以上を虐殺し、病院や住宅、燃料貯蔵施設など生活インフラを意図的に攻撃している。トランプは「あと何度か攻撃するかもしれない。楽しみだ」とまで言い放つ。ガザ大虐殺に続くイラン攻撃でイスラエルと共に中東支配を狙い、ベネズエラ・イランなど中国と密接な関係をもつ国々と中国との関係を断ち切り、中国侵略戦争突入を狙う。

日米首脳会談で高市はトランプに対し「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけだ。応援したい」とまで言ってのけた。ふざけるな！

すでに米海軍横須賀基地から米艦船２隻が出撃し、イラン侵略戦争に参戦している。在日米軍基地がイラン人民虐殺の出撃拠点となっている。自衛隊の中東派兵も狙われている。イラン侵略戦争弾劾！横須賀からのイランへの出撃を許すな！米軍基地撤去！トランプ・高市打倒！に向けて４・４横須賀闘争に結集しよう！

改憲・戦争阻止！大行進　神奈川

【大行進神奈川呼びかけ】　野本三吉（ノンフィクションライター・元小学校教員）／呉東正彦（弁護士）／座覇光子（沖縄民権の会）／船木明貴（元中学校教員）／鈴木一久（元神奈川県立高校教員）／齋藤省吾（元横浜市中学校教員）／荒井素子（婦人民主クラブ全国協議会代表）／恋田邦子（三浦半島地区教職員組合）／神奈川県朝鮮人強制連行真相調査団／国鉄神奈川動力車労働組合
【連絡先】　横浜市南区山王町4-26-3-301　Tel　080-1813-3719（田中）　Mail　kdaikoushin@gmail.com　X　@SKSyokosuka

横須賀から米軍艦船がイランへ出撃！

アメリカ帝国主義のイラン侵略戦争とイラン人民虐殺の侵略出撃拠点・米海軍横須賀基地に対し怒りをたたきつける時だ。米海軍横須賀基地から出撃した米イージス艦「ミリアス」「ジョン・フィン」が、沖縄県のホワイトビーチに寄港後、イラン沿岸に行き、巡航ミサイル「トマホーク」をイラン人民の頭上に撃ち込んでいる。

さらに米国防総省は、地上戦を射程に入れ、米海軍佐世保基地配備の強襲揚陸艦「トリポリ」（2500 名）や沖縄の米海兵隊即応部隊（2500 名）も中東に派遣。「トリポリ」も米海軍第 7 艦隊に所属し、司令部は横須賀基地の旗艦「ブルー・リッジ」にある。米軍はさらに追加派遣も進める。

日米安保条約によって存在する在日米軍基地が、戦争の出撃拠点となっている。イラン革命防衛隊元司令官は「もし日本における米軍基地が対イラン攻撃のために利用されているとの情報を得たら、アラブ諸国同様に在日米軍基地を攻撃するし、日本の船舶もホルムズ海峡を通過できない」と述べている。イランが米軍基地を攻撃し、ホルムズ海峡封鎖を武器に反撃するのは当然だ。他にどんな手段があるというのだ。日本の労働者人民はこの言葉を深く受け止めねばならない。

イラン人民虐殺に加担する高市許すな！

日米首脳会談で、トランプはイラン侵略戦争への「貢献」を求めた。高市はアメリカのイラン攻撃に一言の非難もなく、トランプを平和の使者のように持ち上げた。そして自衛隊の中東派兵を狙う。イラン人民虐殺に加担する高市を許すな！

日米首脳会談に先立つ 19 日には、日本を含む欧州など 7 か国がイラン非難声明を発表。ホルムズ海峡封鎖やイランが湾岸諸国のガス施設を攻撃することを非難した。イスラエルによるイランのガス施設攻撃は不問に付すでたらめなものだ。全事態は、アメリカとイスラエルによるイラン攻撃の一方的開始から始まっているではないか。

あれだけ「力による現状変更は許さない」と言っておきながら、トランプがそれを強行したら、トランプのご機嫌を取り、必死に反撃するイランを非難する。なんという都合主義か！徹底的に非難されるべきはアメリカでありトランプだ！

トランプと高市は米軍兵士の前で、日米安保同盟を賛美し、中国侵略戦争のための戦争同盟としての強化を誓う（10 月 28 日　横須賀）

アメリカは、自衛隊による船舶護衛、機雷除去、米艦船への給油などを求めている。安保法制の初発動＝「重要影響事態」認定による米軍の後方支援や「調査・研究」名目での自衛隊艦船の派兵＝参戦に向けて高市は激しく動き出していく。

「共同行動を取っている米軍が攻撃を受けたとき、日本が何もせずに逃げ帰れば、日米同盟はつぶれる」と主張し、昨年 10 月の日米会談で「日米同盟の黄金時代をつくる」と述べたのが高市だ。高市は、日米首脳会談を転換点に軍事費の国内総生産（GDP）比 5 %化、安保 3 文書改定、核持ち込み容認、武器輸出全面解禁、自衛隊への長射程ミサイル配備に突き進む。日本帝国主義のイラン侵略戦争ー中国侵略戦争突入を許すな！

日米戦争同盟粉砕・基地撤去のデモへ

昨年 10 月、トランプが「政治的に正しくないこともやる」と横須賀で豪語したことには重大な意味がある。イラン侵略戦争、中国侵略戦争の最大の出撃拠点、前線司令部、核攻撃拠点が米軍と自衛隊基地が隣接する横須賀だということだ。

3 月 21 日に予定されていた基地開放イベントも「現在の国際情勢を踏まえ、開催が困難」（米海軍横須賀基地司令部）と中止となった。基地は「親善の証」でも「観光資源」でもなく、侵略戦争の軍事拠点であり、攻撃対象ともなる。 4 月 4 日、日米安保粉砕・基地撤去を掲げて米海軍横須賀基地に進撃する実力デモにたとう！